

5/19 制

維新、梅村議員処分へ

ウイ・シユマさん巡る発言

日本維新の会の梅村みづは参院議員が国会での発言で批判を受けている問題で、同党の藤田

文武幹事長は18日、入管難民法改正案を審議中の参院法務委員会の委員から梅村氏を外すとする。▼オピニオン面=社説

大阪府議団代表も処分 市議に不適切言動

大阪維新の会は、維新大阪市議団の女性市議に不適切な言動をしたとして維新大阪府議団代表の 笹川理(41)、同市東淀川区選出)を17日付で厳重注意処分とした。 笹川氏は18日記者団の取材に応じ、おむね事実関係を認めて謝罪する一方、議員辞職はせず代表も続ける意向を示した。 笹川氏は現在4期目。

週刊文春が、2015年に女性市議に対し「ふざけんなや」などとし

NEを送るなど、パワハラやストーカーの疑惑があると報じていた。 笹川氏によると、15年、初当選したばかりの女性市議の指導もしていたといふ。選舉の仕事の帰りに女性市議が 笹川氏の車に乗らなかったことに立腹し、高圧的なLINEを送ったなどと説明した。女性市議は取材に「私は悪いが、一般的に言えば、女性が働きやすい

説

ば放釈してもらひえる』

藤田氏(44)の口の余韻で「自分の思い込みや想像で感情的な質疑をしたこと」は極めて不適切」と処理理由を説明。馬場伸幸代表も「政治家としてまだ未熟。居酒屋で仲間同士で話しているのは違つ」と問題視した。

梅村氏は12日の参院本会議などで、名古屋出入国在留管理局で2021年に「くなつたスリランカ人ウイ・シユマ・サンダマリさん(当時33)につ

いて、「よかれと思ったら(パワハラなど)は支援者の一面が、ウイシユマさんは『病氣になれ

ない」と語ったが、「信念を持って発言している」

として、「処分に従うのは当然」と語ったが、「信念

を持つて発言している」とも述べ、議員辞職はない考えを強調した。

(山崎穂朗、松井謙)

という淡い期待を抱かせ、医師から詐病の可能性を指摘される状況へつながつたおそれも否定できない「な」と発言した。

梅村氏は18日の参院法務委員会でも、「(支援者の)善意の方向が違うことがあるのでは、と疑うのは立法院として当然のことだ」と主張した。

委員会後、記者団の取材に「処分に従うのは当然」と語ったが、「信念を持つて発言している」とも述べ、議員辞職はない考え方を強調した。

とも述べ、議員辞職はない考え方を強調した。